

## すすめよう！男女共同参画

問合せ先

役場企画課企画調整係  
(内線213)

### ◆一人ひとりの行動から始める男女共同参画

町では2月3日、帯広大谷短期大学でBUSINESS INSIDER JAPANの日本版統括編集長の浜田敬子さんを招き、男女共同参画まちづくり講演会「女性活躍が職場や家庭・地域を変える～SDGsの視点から～」を開催しました。

浜田さんは、今、社会が抱えている多くの課題を解決する上で、「女性の活躍」がとても重要であることをさまざまな視点から指摘しました。



このコーナーでも紹介した日本のジェンダーギャップ指数（経済、教育、健康、政治の4分野での男女の不平等度を示す指標）の低さやその背景、

女性の就労継続を妨げるマミートラック、家庭内での役割分担の不平等、政治における不平等解消のためのクォーター制（議員数の性差をなくすため、一定数を女性に割り当てる制度）などを紹介しつつ、ご自身の体験や多くの事例を交えて展開する話は非常に分かりやすく、あっという間の90分間でした。

長い時間をかけてできあがった価値観や慣習、社会のルールは、一人ひとりの積極的で意識的な発言と行動がなければ変わらないと話し、男女共同参画が進んでいる北欧諸国でも、ここ数十年の強力な取り組みの推進によって実現したと指摘。日本は今のままでは世界の動きから取り残され、男女共同参画後進国となり、その結果、結婚しない人がさらに増えるばかりでなく、企業でも国レベルでも人材が流出すると警鐘を鳴らしました。

さらに、男女共同参画の実現は、単にSDGsのゴール5のジェンダー平等だけでなく、子ども、女性の貧困やDV、虐待などの問題解決にもつながり、また、両性の経済的自立が少子化に歯止めをかけるなど、社会に好循環をもたらすと指摘しました。

皆さん、まず身近な人と家庭内や職場での役割分担について話してみませんか？